

第106期報告書



株主の皆様へ

「地域社会との絆」を大切に、輸送の安全をはじめ 安全・安心な社会の実現を目指します。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種政策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外経済の動向と政策に関する不確実性や、金融資本市場の変動の影響により、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした事業環境の中、当社グループでは中期経営計画の目標を達成すべく積極的に事業を展開した結果、当連結会計年度の総売上高は19,817百万円（前期比0.5%減）、営業利益は1,954百万円（同9.6%減）、経常利益は1,546百万円（同5.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は909百万円（同18.3%減）となりました。

代表取締役社長 星野佳人

セグメント別業績概況

(運輸事業)

一般乗合バス部門では、「もっと確かな乗り物」を目指し定時性向上の取組みを継続したことと併せ、平成31年1月にICカード乗車券「りゅーと」が流通枚数20万枚を突破したことを受けて、記念キャンペーンを展開する等、ICカード乗車券の普及促進に努めた結果、新潟市域を運行する路線においては、前期比増収となりました。しかしながら、佐渡島内および下越地区中山間地において依然として利用者減少に歯止めがかからず、一般乗合バス部門全体では前期比減収となりました。

高速バス部門では、県内高速において、ICカードを利用した運賃精算サービスを開始する等、利便性向上に努めましたが、県外高速バスにおける利用者減少の影響等により、高速バス部門全体では前期比減収となりました。

貸切バス部門では、乗務員不足による稼働減少や遠方宿泊等高単価な貸切需要の減少等により、運賃収入は前期比減収となりました。この結果、運輸事業の売上高は9,637百万円（前期比2.0%減）となりました。

(不動産事業)

万代シティの賑わい創出のため、万代シティ商店街振興組合と連携したイベントを開催したほか、直営店のビルボードプレイスにおけるリニューアルの実施や新潟初出店となる食物販催事の誘致等により、街区の魅力向上や来街客の増加に努めましたが、耐震補強工事等の影響もあり賃貸収入は、前期比減収となりました。また、駐車場利用台数の減少により駐車場収入も前期比減収となりました。

この結果、不動産事業の売上高は3,045百万円（前期比0.3%減）となりました。

(商品販売事業)

観光土産品卸売部門では、新商品や「バスセンターのカレー」のレトルト販売が引き続き好調に推移したこと等により、商品販売事業の売上高は2,228百万円（前期比8.5%増）となりました。

(旅館事業)

新潟市内の「万代シルバーホテル」では、宿泊の稼働率の上昇により宿泊収入が好調に推移したこと等により、売上高は前期比増収となりました。

また、佐渡市内の「国際佐渡観光ホテル八幡館」では、インバウンド需要の積極的な取込みや営業強化により宿泊客数が増加したこと等により、売上高は前期比増収となりました。

この結果、旅館事業の売上高は1,889百万円（前期比0.9%増）となりました。

(その他事業)

旅行業では、主力商品の「くれよん」において多種多様な旅行商品を企画し販売強化に努めた結果、国内・海外旅行ともに旅行需要の回復が見られましたが、一般団体の手配旅行や学校関係のバス送迎の受注減少により、前期比減収となりました。

広告代理業においては、テレビスポット広告や交通広告の営業・販売強化に努めましたが、前期比減収となりました。

航空代理業においては、一部機材の大型化に伴い空港業務受託手数料が増加したこと等により、前期比増収となりました。

清掃・設備・環境業においては、環境部門においてスポット受注が好調に推移したこと等により、前期比増収となりました。

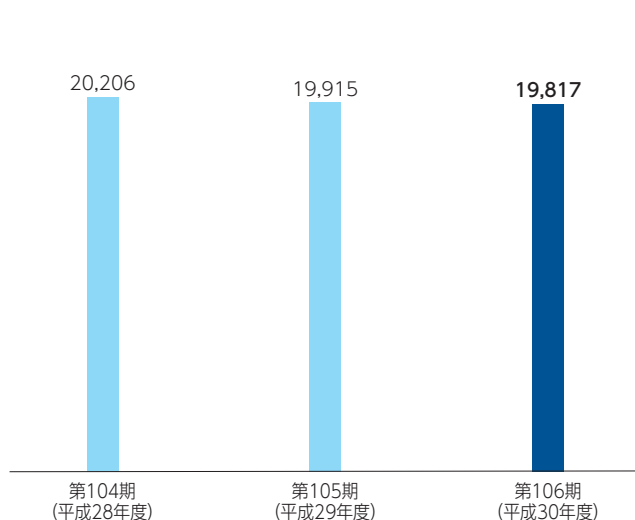
この結果、その他事業全体の売上高は3,016百万円（前期比2.5%減）となりました。

トピックス

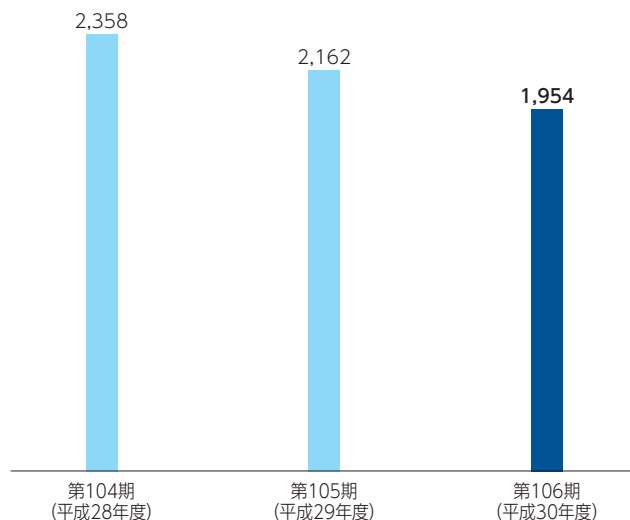


連結財務ハイライト

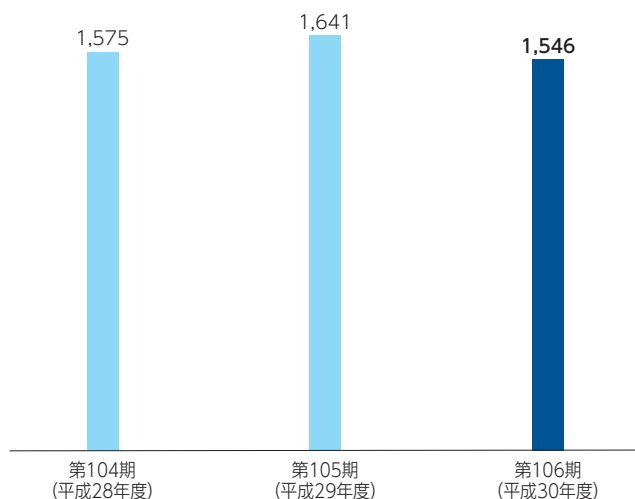
売上高 (単位: 百万円)



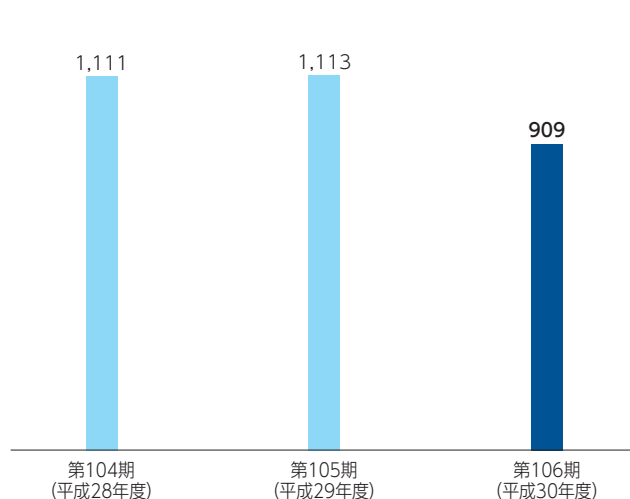
営業利益 (単位: 百万円)



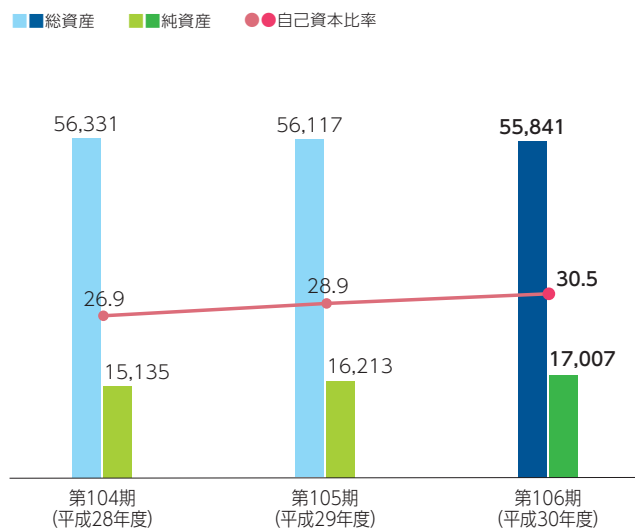
経常利益 (単位: 百万円)



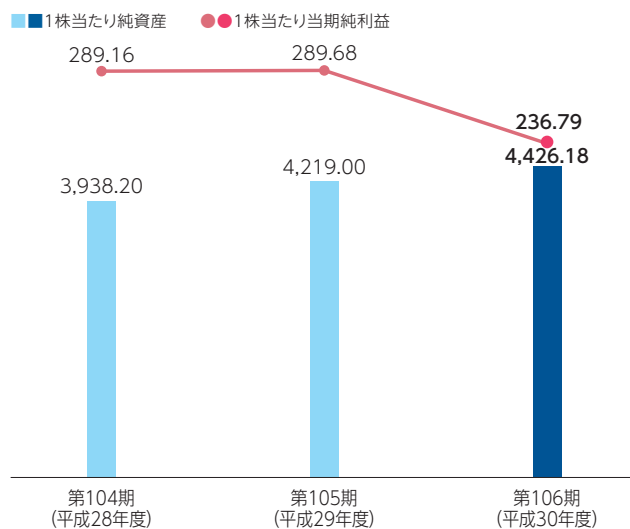
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



総資産／純資産／自己資本比率 (単位: 百万円、%)



1株当たり純資産／1株当たり当期純利益 (単位: 円)



会社概要・株式の状況

■ 会社概要 (平成31年3月31日現在)

会社名	新潟交通株式会社
本社	新潟市中央区万代一丁目6番1号
設立	1943 (昭和18) 年12月
資本金	42億2,080万円
代表者	代表取締役 星野佳人
従業員数	1,475名
事業内容	旅客運送事業・一般旅行業・航空代理業・不動産業・駐車場経営・生活関連用品の販売など
事業所	入船、新潟南部、新潟東部、新潟北部、新潟西部、内野(新潟市)、くれよん万代(新潟市)、くれよん三条(三条市)

■ 株式の状況 (平成31年3月31日現在)

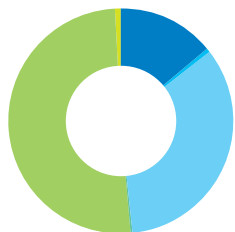
発行可能株式総数	10,000,000株
発行済株式の総数	3,864,000株 (うち、自己株式21,486株)
株主数	2,639名

大株主の状況

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
株式会社第四銀行	1,749	4.55
株式会社ブリヂストン	1,638	4.26
いすゞ自動車株式会社	1,550	4.03
太平興業株式会社	1,332	3.47
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,220	3.18
株式会社みずほ銀行	1,050	2.73
三菱ふそうトラック・バス株式会社	1,035	2.69
三井住友海上火災保険株式会社	1,001	2.61
清水建設株式会社	1,000	2.60
新潟いすゞ自動車株式会社	767	2.00

(注) 持株比率は自己株式(214百株)を控除して計算しております。

■ 株式所有者別分布図



● 金融機関	14.18%
● 金融商品取引業者	0.23%
● その他の法人	34.11%
● 外国法人等(個人含む)	0.14%
● 個人・その他	50.78%
● 自己名義株式	0.56%

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要がある場合には、予め公告をして基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付/電話 お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)

公告方法

電子公告といたします。
(当社ホームページ掲載
<http://www.niigata-kotsu.co.jp/ir>)
ただし、電子公告によることができない事故、その他止むを得ない事由が生じた場合は、新潟日報に掲載をいたします。
※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第2部
証券コード	9017

【株式事務に関するご案内】

● 証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

● 特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
お手続き お問い合わせ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替を行う必要があります。

● 証明書の発行等、その他の株式に関する手続きは当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)が承ります。

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル) ※ 本郵送先は事務センターにつき、ご来店による受付はできませんのでご了承ください。
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店